



学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童の育成



8. 9長崎原爆の日 たくましく花を咲かせたヒマワリに思う

77回目の長崎原爆の日を迎えました。

南小の校門近くには、子どもたちが6月10日に種を植えたヒマワリの花が咲いています。台風が来たあとに葉が全体的に枯れかかり、たいへん心配しましたが、たくましく花を咲かせました。日々子どもたちの愛情のこもった水やりと降り注ぐ太陽の光を浴びて、大輪とはいかないまでも力強く咲いています。すばらしい生命力です。



ご存じの方も多いかと思いますが、ヒマワリはウクライナの国花です。たくましく育ったヒマワリは、命の大切さや平和を訴える象徴と言えるかもしれません。今まさに戦時に直面しているウクライナの人たちに、この南小学校からエールを送りたいと思います。

本日、南小学校では「平和集会」を行いました。各学年からの発表や平和の標語の発表など、他人事ではなく自分事として戦争の愚かさや平和の大切さについて考え、発信する姿が見られました。ちなみに全校児童で作成した標語は「七つ星 はばたくカ 未来へと」です。これからの平和な未来をつくっていく子どもたちに大いに期待したいと思います。



ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、核兵器使用の可能性も現実味を帯びつつあります。被爆地長崎に生きる私たちは、世界平和を切に願いつつ、「長崎を最後の被爆地に」という共通の思いで、自分たちにできることを考え実行していきたいと思っています。

看板作り（育成協主催）

「看板作り」は毎年行っている育成協の行事です。7月31日（日）、児童、保護者、教職員が、千々の集荷場に集まり、ペンキを使って、図柄の縁取り作業等を行いました。育成協OBの方々も顔を出してくださいました。みんなの協力で出来上がった看板は、これまで製作されたものと同様に、千々、大崎の道路沿いに設置されています。

